

住民基本台帳カードについて

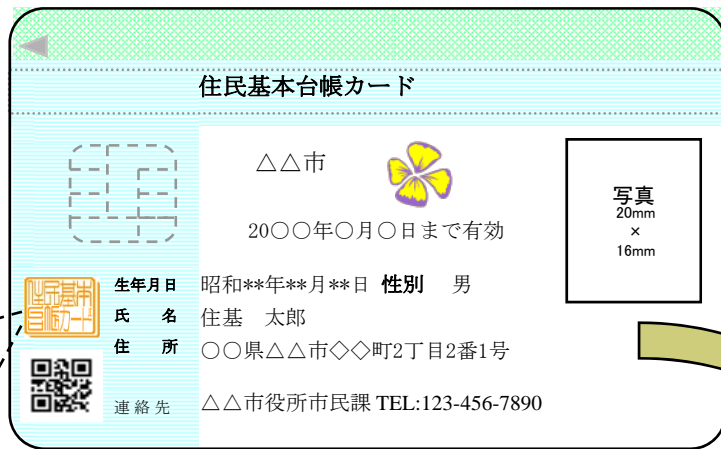
平成21年2月6日

総務省自治行政局市町村課

新しい住基カードの発行

- ◎ 住基カードのICチップに新たに券面事項を記録することとし、その情報を活用することにより、本人確認機能が強化される新しい住基カードを平成21年4月下旬目途から全市区町村において順次発行予定。
- ◎ 偽造防止措置を施した共通ロゴマークを制定しカードの認知度アップを図る。

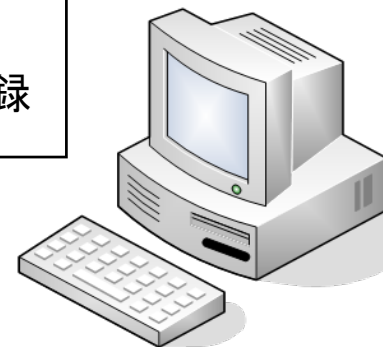
住基カードの
共通ロゴマーク



券面事項を
ICチップにも記録

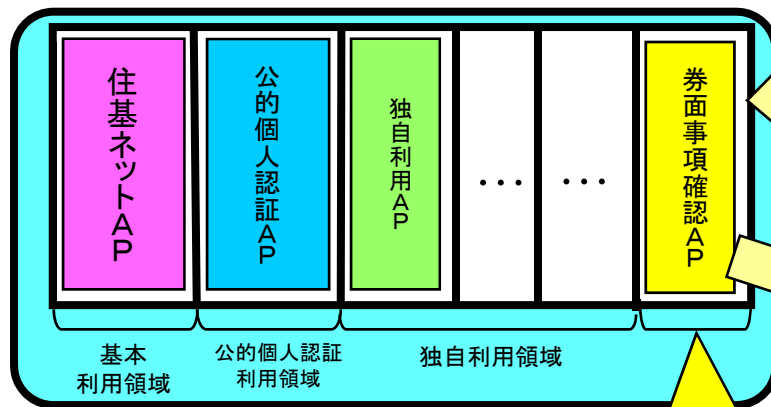
氏名
生年月日
性別
住所

写真
有効期限



本人確認・年齢
の機械判定が可能

ICチップ

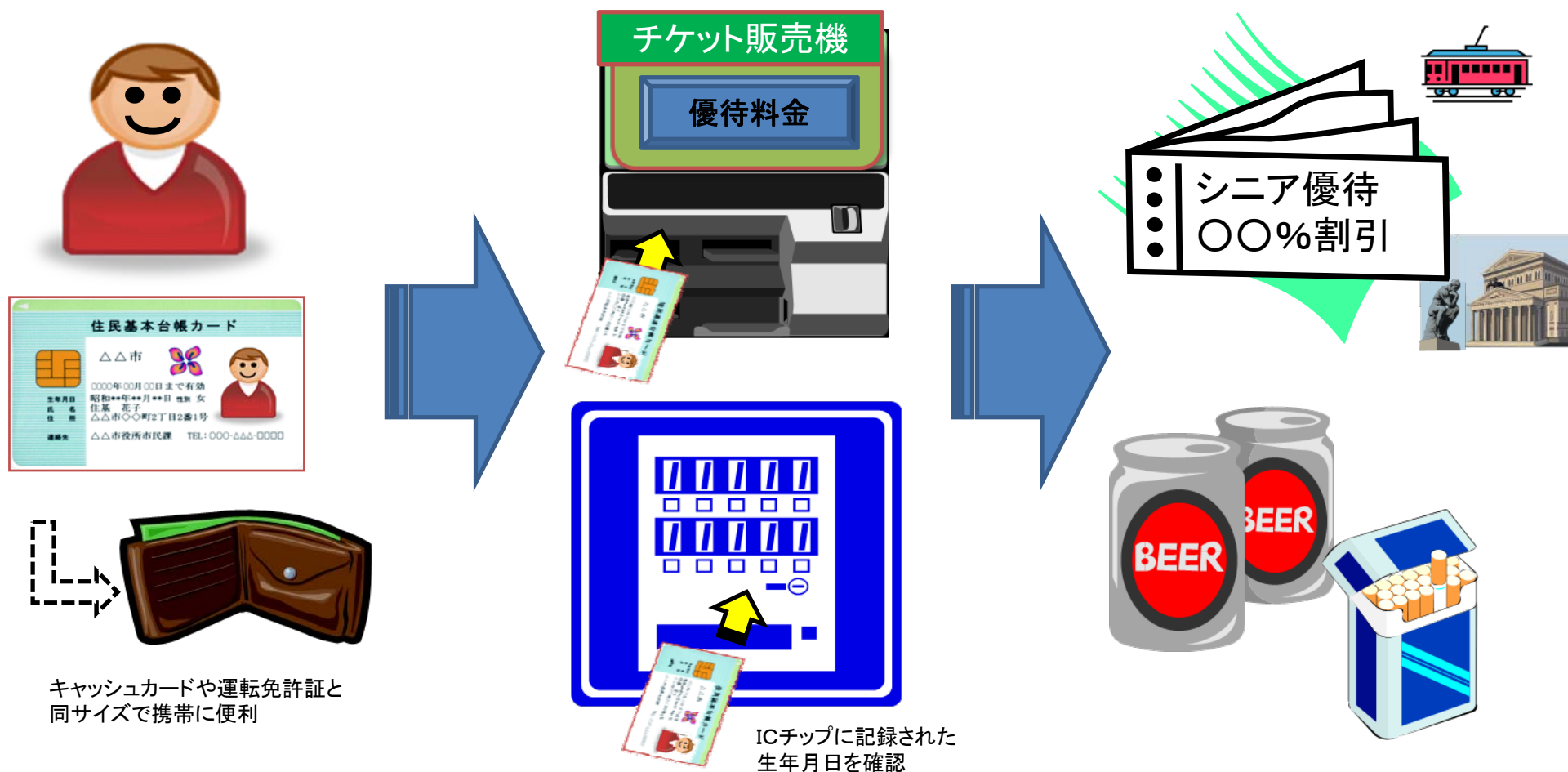


券面事項確認領域を
新たに設定

金融機関等における専用ソフトウェアをインストールしたパソコン等により、内容の確認ができる仕組みとする。

住基カードを利用した年齢確認(イメージ)

住基カード(写真付き)の生年月日を確認することで、年齢確認が簡易に可能。

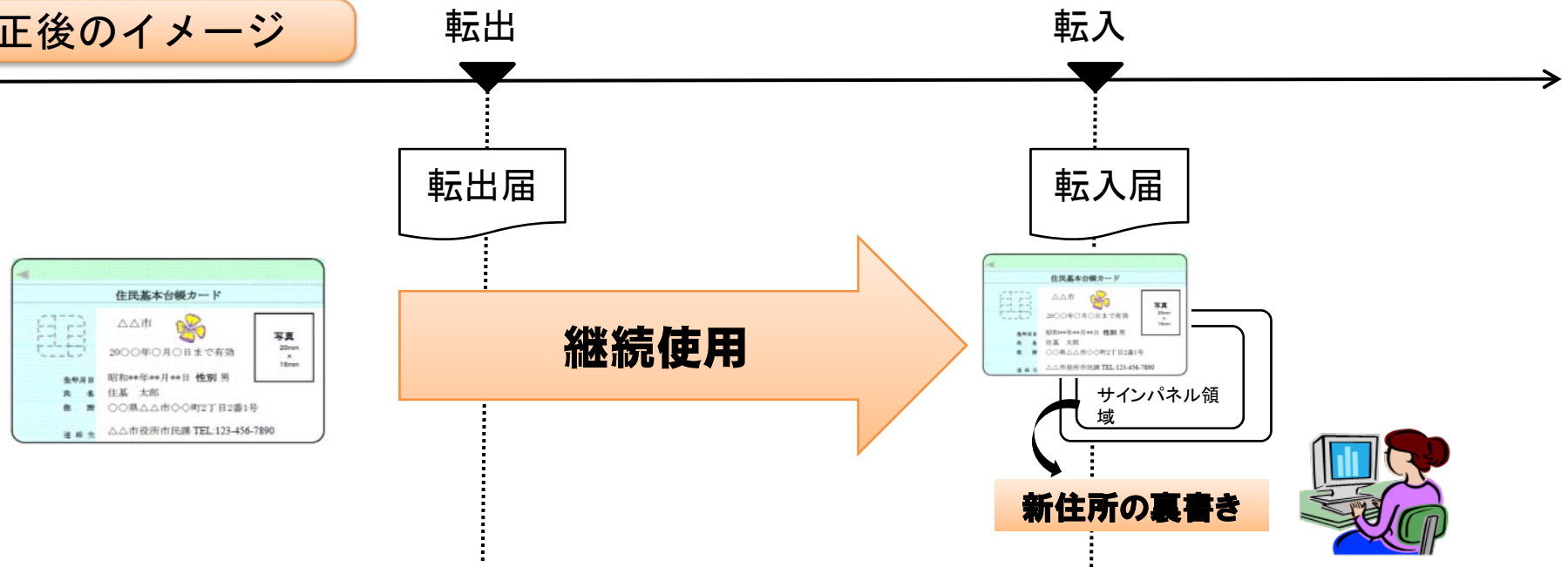


引っ越し時に住基カードが失効しない仕組みの制度化

他の市町村へ住所を移した場合でも引き続き住民基本台帳カードを使用することができるよう、住民基本台帳法の一部改正法案を平成21年通常国会に提出予定。

- ・ 住民基本台帳カードを交付した市町村長への返納規定を削除
- ・ 転入地市町村長に対し住民基本台帳カードを提出することで継続使用が可能

改正後のイメージ



(注) 現在、他の市町村へ住所を移すときは、一度住民基本台帳カードを返納し、改めて転入地市町村で住民基本台帳カードの交付申請を行う必要がある。